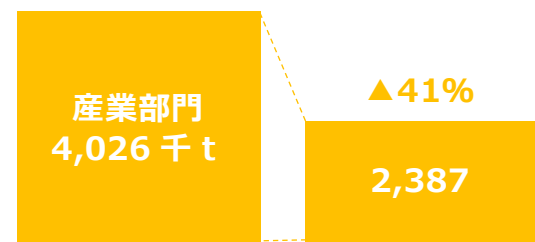
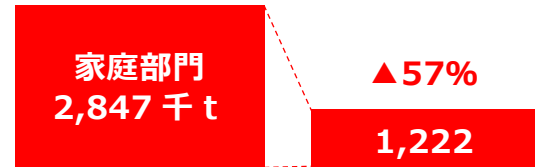
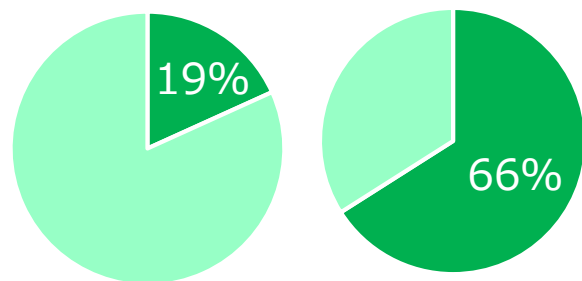


県では、地球温暖化対策実行計画を改定し、新たに2030年度の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比57%減とした。県民会議の活動は、脱炭素に向けた各主体の積極的な取組を促進するため、新たなフェーズに移行していく必要がある。令和5年度は、その初年度として、「省エネルギーと再生可能エネルギーで実現する豊かな生活と持続可能な脱炭素社会」を目指し、県民、事業者及び行政が一体となった県民運動をより積極的に展開するほか、構成団体・企業等におけるエネルギー使用量と温室効果ガス排出削減に向けた主体的な取組を推進する。

温室効果ガス削減目標  
2013年度 ➤ 2030年度



再エネ電力自給率  
2013年度 ➤ 2030年度



## 活動方針

## 取組内容

### 1 家庭における省エネルギー化

- (1) 住宅への再エネ設備の導入、省エネ住宅の普及促進
- (2) 家電等の購入や買換えにおける省エネ機器の選択促進
- (3) エネルギー消費量の少ないライフスタイルへの転換促進



- |     |   |
|-----|---|
| (1) | 再エネ導入や省エネ住宅による効果の情報発信強化<br>行政の補助制度等の周知への協力          |
| (2) | 省エネ性能や省エネ効果の情報発信強化<br>行政の補助制度等の周知への協力               |
| (3) | 省エネにつながるライフスタイルに関する情報発信強化<br>省エネ・節電キャンペーンによる行動変容の促進 |

### 2 産業・業務における省エネルギー化

- (1) 省エネ設備・機器等の導入促進
- (2) 脱炭素経営の促進



- |     |  |
|-----|--|
| (1) | エネルギーの使用状況等の率先把握<br>行政の補助・融資制度の積極的活用   |
| (2) | 「できることからECOアクション！」への参加促進<br>表彰制度の充実<br>商工団体や会議機関等との連携による事業者支援<br>「いわて脱炭素化経営企業等認定制度」の認定取得促進<br>「いわて脱炭素経営カルテ」の有効活用 |

### 3 運輸における省エネルギー化

- (1) 次世代自動車<sup>\*</sup>の普及促進



<sup>\*</sup> 電動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

- |     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| (1) | 省エネ性能や省エネ効果の情報発信強化<br>行政の補助制度等の積極的活用 |
|-----|--------------------------------------|

### 4 再生可能エネルギーの導入促進

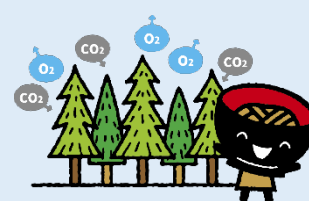
- (1) 地域の環境に配慮した再エネの導入促進
- (2) 地域経済と環境に好循環をもたらすエネルギーの地産地消の推進
- (3) 水素の利活用推進



- |     |                                      |
|-----|--------------------------------------|
| (2) | 行政の補助・融資制度の積極的活用<br>地域の脱炭素に向けた取組への協力 |
|-----|--------------------------------------|

### 5 多様な手法による地球温暖化対策の推進

- (1) 吸収源対策の推進
- (2) 廃棄物対策等の推進
- (3) 県民会議を中核とした体制の拡充強化
- (4) 環境学習の推進



- |     |                                   |
|-----|-----------------------------------|
| (1) | 森林整備の促進<br>県産木材の利用促進              |
| (2) | 資源循環型ライフスタイルの推進                   |
| (3) | 金融機関の参画<br>若者WGの設置<br>外部専門人材からの助言 |
| (4) | 地球温暖化防止活動推進員の積極的活用                |

## 令和5年度事業計画案

### I 活動方針

県では、令和5年3月に岩手県地球温暖化対策実行計画を改定し、新たに2030年度の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比57%減とした。

県民会議の活動は、脱炭素に向けた各主体の積極的な取組を促進するため、新たなフェーズに移行していく必要がある。

令和5年度は、その初年度として、実行計画に掲げる「省エネルギーと再生可能エネルギーで実現する豊かな生活と持続可能な脱炭素社会」を目指し、県民、事業者及び行政が一体となった県民運動をより積極的に展開するほか、構成団体・企業等におけるエネルギー使用量と温室効果ガス排出削減に向けた主体的な取組を推進する。

【参考】実行計画（抜粋） 2 計画の推進 (1) 連携・協働体制

■温暖化防止いわて県民会議

「温暖化防止いわて県民会議」を中核とした体制を拡充強化し、キャンペーン等の全県的な運動を展開するほか、県民会議の構成団体においてエネルギー使用量と温室効果ガス排出削減に向けた主体的な取組を推進します。

### II 事業計画（目次）

#### 1 家庭における省エネルギー化

- (1) 住宅への再エネ設備の導入、省エネ住宅の普及促進
- (2) 家電等の購入や買換えにおける省エネ機器の選択促進
- (3) エネルギー消費量の少ないライフスタイルへの転換促進

#### 2 産業・業務における省エネルギー化

- (1) 省エネ設備・機器等の導入促進
- (2) 脱炭素経営の促進

#### 3 運輸における省エネルギー化

- (1) 次世代自動車の普及促進

#### 4 再生可能エネルギーの導入促進

- (1) 地域の環境に配慮した再エネの導入促進
- (2) 地域経済と環境に好循環をもたらすエネルギーの地産地消の推進
- (3) 水素の利活用推進

#### 5 多様な手法による地球温暖化対策の推進

- (1) 吸収源対策の推進
- (2) 廃棄物対策等の推進
- (3) 県民会議を中核とした体制の拡充強化
- (4) 環境学習の推進

### Ⅲ 事業計画

#### 1 家庭における省エネルギー化



##### (1) 住宅への再エネ設備の導入、省エネ住宅の普及促進

省エネ住宅のメリットについて県民理解を増進し、二酸化炭素排出削減とともに健康で快適な住まいづくりを促進する。

○ **再エネ導入や省エネ住宅による効果の情報発信強化** 主催事業

- ・わんこ節電所における情報発信の充実 強化
- ・家庭のエコチェック項目を生活の質向上に関する視点を含めてバージョンアップ 強化
- ・「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」との連動 新規
- ・構成団体・企業等における職員への周知

○ **行政の補助制度等の周知への協力**

- ・省エネ改修補助（県）、再エネ導入補助（市町村）  
 （参考）いわてわんこ節電所「快適で暮らしやすい省エネ住宅」

**断熱リフォームでおうちを快適空間に**

断熱リフォームとは、天井・壁・床などの断熱施工や開口部の断熱施工(窓の交換、内窓設置、ガラスの交換など)をすることです。室内に外気の温度や熱が伝わりにくくなります。

断熱リフォームの種類

- 断熱材の施工**：断熱材の施工は、断熱性能を向上させるための重要なポイントです。断熱材の種類や施工の仕方に合わせて、断熱性能を向上させることができます。
- 気密性の向上**：断熱材の施工だけでなく、気密性の向上も断熱性能を向上させるための重要なポイントです。気密性の向上は、断熱材の施工と合わせて行う必要があります。

**天井断熱**

夏の太陽光が天井から室内に伝わりやすいため、断熱材の施工は、断熱性能を向上させるための重要なポイントです。断熱材の種類や施工の仕方に合わせて、断熱性能を向上させることができます。

**窓断熱**

窓は、断熱性能を向上させるための重要なポイントです。断熱材の施工だけでなく、気密性の向上も断熱性能を向上させるための重要なポイントです。気密性の向上は、断熱材の施工と合わせて行う必要があります。

**床断熱**

冬の冷気が床から室内に伝わりやすいため、断熱材の施工は、断熱性能を向上させるための重要なポイントです。断熱材の種類や施工の仕方に合わせて、断熱性能を向上させることができます。

**外壁断熱**

外壁は、断熱性能を向上させるための重要なポイントです。断熱材の施工だけでなく、気密性の向上も断熱性能を向上させるための重要なポイントです。気密性の向上は、断熱材の施工と合わせて行う必要があります。

**浴室断熱**

浴室は、断熱性能を向上させるための重要なポイントです。断熱材の施工だけでなく、気密性の向上も断熱性能を向上させるための重要なポイントです。気密性の向上は、断熱材の施工と合わせて行う必要があります。

**「住まい」の断熱性能を高めましょう**

岩手県を含む東北地方は、「住まい」における暖房によるCO<sub>2</sub>排出量が全国平均の約21%を上回る約36%を占めています。暖房によるエネルギー消費は、高断熱・高気密などの優れた省エネルギー性能を備えた住宅（以下、「省エネ住宅」という。）にすることで抑えることができます。高断熱・高気密な省エネ住宅にすると、室温を一定に保ちやすくなり、エネルギー消費を抑えるとともに、光熱費の上昇も抑えられ、ヒートショック※の危険性も低減されます。

※ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い浴室やトイレへ移動することで血圧が急激に変動し、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを起こす症状で、寒さ自体を一定の範囲に抑えて、ヒートショックのリスクを大幅に下げられます。

**東北地方の世帯当たり年間用途別CO<sub>2</sub>排出構成比**

※掲載内容は令和3年度 国土交通省「省エネ住宅普及率調査（速報版）」を元に作成。

##### (2) 家電等の購入や買換えにおける省エネ機器の選択促進

家電等の省エネ性能や省エネ効果、コスト比較等の情報発信により、省エネ機器の選択を促進する。

○ **省エネ性能や省エネ効果の情報発信強化** 主催事業

- ・わんこ節電所における情報発信の充実 強化
- ・家庭のエコチェック項目を生活の質向上に関する視点を含めてバージョンアップ 強化
- ・「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」との連動 新規
- ・構成団体・企業等における職員への周知

○ **行政の補助制度等の周知への協力**

省エネ機器導入補助（市町村）  
 （参考）いわてわんこ節電所「省エネ家電への買換え」

**照明器具**

省エネで長寿命のLED照明に交換して、消費電力を大幅カット！

「家庭のエコチェック」の取組結果では、2011年度以降に買換えをしたものの中で最も多かったのが照明器具です（調査期間：2018年4月～9月）。他の家電に比べ安価で交換できることもあり、買換えに取り組みやすい面もあります。

一般的な電球と比べると、LED電球は約85%の省エネと約25倍の寿命を実現します。

消費電力：LED電球は白熱電球の約1/5に削減可能。消費電力を削減することで、電気料金を大幅に削減できます。

寿命：LED電球は白熱電球の約25倍の寿命を実現します。交換頻度を大幅に削減し、手間とコストを削減できます。

**買換える時は、省エネ達成率が高いものを選びましょう**

同等の価格の場合、省エネ達成率が高いほど省エネ性が優れ、毎年度電気料金を安く抑えます。購入する際には、省エネ達成率を示す数値を確認しましょう。

※省エネ達成率とは、省エネ機器の省エネ性能と、省エネ機器の価格を比較して算出された数値です。省エネ達成率が高いほど、省エネ性能が優れていることを示しています。

**統一省エネラベルの例（電気消費量）**

① 多段階評価：省エネ性能を5段階で評価し、2.7星は非常に省エネ性能が高いことを示しています。

② 省エネラベル：省エネラベルは、省エネ性能を一目で確認できるラベルです。省エネラベルは、省エネ性能を一目で確認できるラベルです。

③ 省エネラベルの目安：省エネラベルの目安は、省エネ性能を一目で確認できるラベルです。省エネラベルの目安は、省エネ性能を一目で確認できるラベルです。

### (3) エネルギー消費量の少ないライフスタイルへの転換促進

家庭のエネルギー使用状況の把握・分析手法の活用等により、生活の質向上にもつな  
がる身近な取組を促進する。

- 省エネにつながるライフスタイルに関する情報発信強化 主催事業
  - ・わんこ節電所におけるライフスタイル転換に関する提案 強化
  - ・家庭のエコチェック項目を生活の質向上に関する視点を含めてバージョンアップ 強化
  - ・構成団体・企業等による家庭のエコチェック・プレゼントキャンペーン協賛
  - ・「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」との連動 新規
  - ・構成団体・企業等における職員への周知
  
- 省エネ・節電キャンペーンによる行動変容の促進 主催事業
  - ・構成団体・企業等における職員への周知、キャンペーンへの率先参加

(参考) いわてわんこ節電所「省エネ家電への買換え」

#### 省エネ行動チェック 必須

温室効果ガスの約9割は二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) なんだ。  
先月のおおむね取り組めたアクションにチェックしてね。

- 使っていない場所の照明は消す **1kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 部屋の室温を確認する (目安: 夏はおおむね28℃、冬はおおむね20℃)  
**4.2kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 歯磨きやシャワーの時、水を出しっぱなしにしない **5.8kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 家電製品を使わないときは、コンセントからプラグをぬく **4.3kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 冷蔵庫にものをつめこみすぎない **1.7kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 時間を空けずにお湯が冷めないうちにお風呂に入る **7.1kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 近くに出かけるときは、車を使わない **7.1kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 食料品はできるだけ岩手県産のものを買う **0.9kg-CO<sub>2</sub>削減**
- テレビをつけっぱなしにしない **0.6kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 炊飯器を保温のままにしない **2.1kg-CO<sub>2</sub>削減**
- 宅配便を1回で受け取る (日時・時間指定、コンビニ受け取りなど)  
**0.6kg-CO<sub>2</sub>削減**

## 2 産業・業務における省エネルギー化



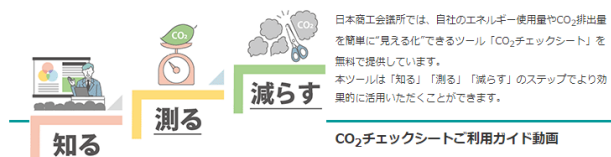
### (1) 省エネ設備・機器等の導入促進

二酸化炭素排出量の可視化や省エネルギー診断等のサービス、行政の補助制度等を積極的に活用し、省エネ設備・機器等の導入を促進する。

- エネルギーの使用状況等の率先把握
  - ・二酸化炭素排出量の可視化の普及 **新規**
  - ・エネルギー使用状況を踏まえた提案・助言を行う省エネルギーの受診
    - ※これらの取組は、県補助制度で補助上限額において優遇 **強化**
  - ・構成団体・企業等の率先活用
  - ・傘下事業所等への周知
- 行政の補助・融資制度の積極的活用
  - 省エネ設備（空調・換気・照明・給湯）補助（県）
  - ・構成団体・企業等の率先活用
  - ・傘下事業所等への周知

(参考) 日本商工会議所「CO<sub>2</sub>チェックシート」

CO<sub>2</sub>チェックシートについて



CO<sub>2</sub>チェックシートの使い方を一からわかりやすく説明しています。ご利用前にご確認ください。



NEW! 2023年度用の排出係数を追加したチェックシートを公開しました



※2023年度の排出係数は、以下を参照しております。  
●電気事業者別排出係数一覧（令和5年度報告）  
【環境省ホームページ】  
※令和5年1月24日時点

### (2) 脱炭素経営の促進

温室効果ガス排出削減に成果があった事業者の取組を表彰・認定等を通じて、脱炭素や環境に配慮した事業活動を行う事業者の主体的な取組を促進する。

- 「できることから ECO アクション！」への参加促進
  - ・構成団体・企業等の実践と率先参加
  - ・傘下事業所等への周知
  - ・被表彰事業所の取組等の各種媒体による紹介
- 表彰制度の充実 **主催事業**
  - ・ECO アクション賞の名称に「脱炭素経営大賞」を付与 **新規**
  - ・表彰対象期間（取組期間）を冬季限定から通年に変更 **強化**

- 商工団体や金融機関等との連携による事業者支援
  - ・行政の認定・補助・融資制度等の効果的な情報提供 新規
- 「いわて脱炭素化経営企業等認定制度」（いわて地球環境にやさしい事業所認定制度）の認定取得促進
  - ・脱炭素経営や取得メリットの効果的な情報発信 強化
  - ・構成団体・企業等の率先取得
  - ・傘下事業所等への周知
    - ※認定事業所は、県補助制度で補助上限額において優遇
- 「いわて脱炭素経営カルテ」（地球温暖化対策計画書制度）の有効活用
  - ・脱炭素経営のメリットの効果的な情報発信 強化
  - ・同意を得た事業者の計画書・届出書の任意公表（県ホームページで公表） 新規
  - ・提出義務のない事業者も公表を前提に提出可能 新規
  - ・傘下事業所等への周知

### 3 運輸における省エネルギー化



#### (1) 次世代自動車※の普及促進

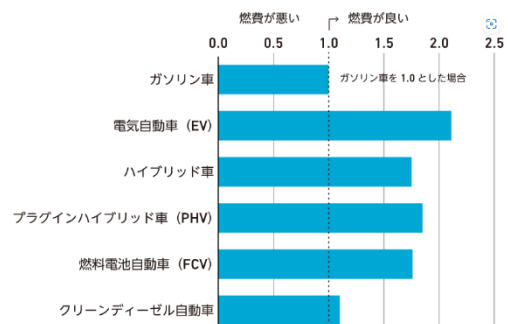
次世代自動車の省エネ性能や省エネ効果、コスト比較等の情報発信により、温室効果ガス排出量がより少ない自動車の選択を促進する。

※次世代自動車：電動車（電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車）、クリーンディーゼル車等の環境負荷の低い自動車

- 省エネ性能や省エネ効果の情報発信強化 主催事業
  - ・わんこ節電所における情報発信の充実 強化
  - ・「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」との連動 新規
  - ・構成団体・企業等における職員への周知
- 行政の補助制度等の積極的活用
  - EV・PHV と太陽光発電設備等補助（県） 新規
  - EV・PHV タクシー、EV バス等補助（県） 新規
  - ・構成団体・企業等の率先活用
  - ・傘下事業所等への周知

（参考）いわてわんこ節電所「エコカーへの乗換え」

次世代自動車の燃費の比較（乗用車）



※電力については発電所において投入されるエネルギー量で計算  
出典：中央環境審議会地球環境部会「2013年以降の経路：脱炭素に関する報告書」より作成



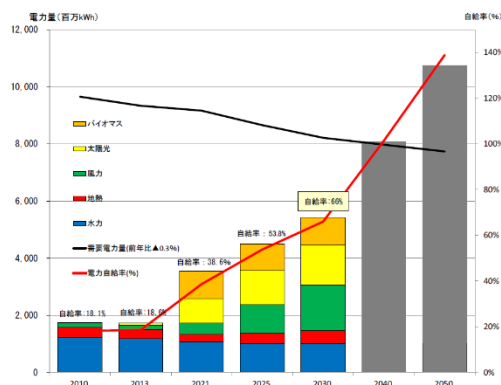
## 4 再生可能エネルギーの導入促進



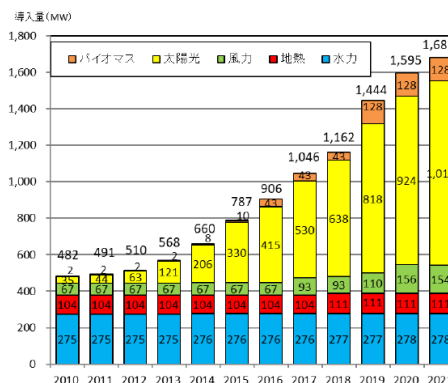
### (1) 地域の環境に配慮した再エネの導入促進

国・県等のガイドライン、市町村が設定する再エネ促進区域を活用し、地域の特性を活かした、地域と共生する再エネ導入を促進する。

(参考) 再エネ電力量と電力自給率



(参考) 再エネ (電気) の導入量



(出典) 第2次岩手県地球温暖化対策実行計画

### (2) 地域経済と環境の好循環をもたらすエネルギーの地産地消の推進

地域で発電した電力をその地域で消費するなどの地産地消の取組を推進し、災害時等のエネルギーも確保する自立したエネルギーシステムの構築を促進する。

#### ○ 行政の補助・融資制度の積極的活用

事業者向け自家消費型太陽光発電補助 (県) **新規**

住宅向け太陽光発電補助 (市町村)

- ・ 構成団体・企業等の率先活用
- ・ 傘下事業所等への周知

#### ○ 地域の脱炭素に向けた取組への協力

- ・ 脱炭素先行地域選定に向けた市町村の取組への積極的な協力・支援 **新規**

### (3) 水素の利活用推進

国の動向や技術開発の進展も踏まえながら、当面はモビリティにおける水素の利活用 (水素ステーション整備、FCV 導入) に向けた取組を促進する。

## 5 多様な手法による地球温暖化対策の推進



### (1) 吸収源対策の推進

二酸化炭素の吸収源である森林の多面的機能を持続的に発揮させるため、森林整備や県産木材の利用を促進する。

- 森林整備の促進
  - ・ 構成団体・企業等による取組への協力
- 県産木材の利用促進
  - ・ 建築物等への県産木材の利用などの率先取組

### (2) 廃棄物対策等の推進

廃棄物の発生抑制を目指した資源循環型のライフスタイルを推進する。

- 資源循環型ライフスタイルの推進
  - ・ わんこ節電所におけるライフスタイルの提案 **強化**  
(マイバッグ、マイボトル、3R、食品ロス削減等)
  - ・ 「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」との連動 **新規**
  - ・ 構成団体・企業等における率先取組
  - ・ 構成団体・企業等における職員への周知

### (3) 県民会議を中核とした体制の拡充強化

脱炭素に向けた各主体の積極的な取組を促進するため、新たなフェーズへ移行する。

- 金融機関の参画 **新規**
  - ・ 事業者の脱炭素に向けた取組を一層促進
- 若者WGの設置 **新規**
  - ・ 脱炭素社会の実現に向けた課題を若者の視線で検討し、県民会議に提案
- 外部専門人材からの助言 **新規**
  - ・ 脱炭素に関する専門知識を有する外部人材からの助言による取組推進

### (4) 環境学習の推進

脱炭素に向けた取組の実践を促すため、家庭や学校、事業所等における環境学習の取組を促進する。

- 地球温暖化防止活動推進員の積極的活用
  - ・ 構成団体・企業等における率先取組